



令和6年6月定例会(6月20日~7月5日)の概要

知事から令和6年度一般会計補正予算案や「長野県県税条例の一部を改正する条例案」などの議案が提出されました。

本会議での一般質問(31名)や委員会審査では、若者・子育て支援、交通政策、教育政策、農業政策など、様々な課題について活発に議論しました。

審議の結果、人口減少への対応を進めるとともに、地震防災対策、新興感染症対応をはじめとした県民生活の安全・安心の確保に取り組むほか、県立高校の再編に向けた教育環境の整備などに必要な予算を盛り込んだ総額30億4,702万円余の令和6年度一般会計補正予算案など29件を原案どおり可決、同意又は承認しました。

議員及び委員会提出議案は、条例案1件が可決されたほか、9件の意見書案が可決され、3件が否決されました。

可決した議員等提出議案一覧

- 意見書は国に提出し、実現を求めました。
- 安全・安心な山岳観光の一層の推進を求める意見書
 - リニア中央新幹線の一刻も早い開業の実現を求める意見書
 - 刑事訴訟法の改正によるえん罪被害者の速やかな救済を求める意見書
 - 国土強靱化の強力かつ計画的な推進を求める意見書
 - 地方財政の充実・強化を求める意見書
 - 義務教育の更なる充実を求める意見書
 - 女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた速やかな検討を求める意見書
 - 地域におけること誰でも通園制度(仮称)の充実等を求める意見書
 - 国の地方公共団体に対する指示権の慎重かつ適切な行使を求める意見書
 - 長野県議会委員会条例の一部を改正する条例
- 【改正内容】4月の組織改正に伴い、「取用委員会に関する事項」の所管委員会を総務企画警察委員会から危機管理建設委員会に改めました。

本会議での主な審議

1 若者・子育て支援

Q 若者が持つ子育てへのネガティブなイメージを払拭するため、どのような取組を講じていくのか。

A 結婚・出産・子育てに関するネガティブな情報が広まり、若者が結婚、子育てに夢や希望を持ちにくい状況となっていることは、全国的な課題であり、本県でも憂慮すべき事態である。

そのため、正しい知識を持ち、子育ての良さ・楽しさや、社会全体で支えられていることを実感し、安心して将来を考えられるようにすることが重要である。

若者に子育ての良い面を知ってもらい、前向きな気持ちになってもらうため、県のポータルサイト「チャフルながの」等でポジティブな情報発信などを行う。また、社会全体で若者に寄り添い子育てを支えていく機運を高めるため、「こどもまんなか応援サポーター」宣言の呼びかけなどの取組を進めていく。

引き続き、様々な主体を巻き込みながら長野県で子育てしたいと考える若者の夢や希望を実現できるように取り組んでいく。

Q 「こども・若者モニター事業」で行ったアンケート結果をどのように分析し、人口減少対策などに活かしていくのか。

A 昨年度から新たに「こども・若者モニター事業」を始め、18歳未満のこどもを対象に「こどもの居場所」と「長野県の暮らし」をテーマに2回アンケート調査を行った。調査の中で、例えば、「長野県の暮らしやすさ」への質問では、「進学先の選択肢が多い」、「公共交通機関が便利」の項目が、3割程度の低評価であった。

今年度は、アンケート調査と意見交換を2回ずつ予定しており、こうした機会を通じて、様々な提案や意見を丁寧にお聴きし、施策づくりに反映させていく。

2 交通政策

Q タクシーの供給不足対策の一つとして、「日本版ライドシェア」の議論がされているが、県はどのように考えていくのか。

A 「日本版ライドシェア」は、乗務員不足による全国的なタクシー不足の中、タクシー事業者の管理の下で第二種免許を持たないドライバーとその自家用車などを活用して供給力を補おうとするもので、既存のタクシー事業者と競合することなく、その責任と運行管理の下で安全性が担保されると考えている。

今後、関係者と十分に協議を行いながら、各事業者のタクシー乗務員の確保などを進めていく。それでもなお不足が生じる地域には、市町村やタクシー事業者と様々な情報を共有することなどにより、「日本版ライドシェア」などの導入・活用を促していく。

Q リニア中央新幹線の開業が延期されたことをどう受け止めているのか。

A 一日も早い開業を求めてきた中で、延期となったことは残念である。開業延期の公表を踏まえ、改めて関係市町村等の考えをお聞きしたところ、様々な課題が上ってきた。期待されていた経済波及効果が失われてしまうことや、工事車両の運行の長期化による騒音・振動といった生活環境への影響などには、県として対応していかなければならない。

まずは、地域の方と課題を共有し、負担の軽減や課題の解決に向けて取り組んでいく。例えば、観光課題はJR東海に対して、必要な協力を強く求めていくことが重要である。引き続き、地域の方の思いに寄り添い、関係機関との意思疎通を円滑に行いながら、必要に応じて国などに要請していく。

3 教育政策

Q 教員の欠員が生じている原因はどこにあり、この状況をどう打開していくのか。

A 教員の欠員が生じる原因として、特別支援学級の増加や、近年、育休を取得する男性が増えていることなどが考えられる。

教員不足の解消に向けて、企業等の協力による外部人材の活用や、地域の方による学校運営の支援の取組を進め、教員の業務負担を軽減するとともに、働き方を変えていく必要がある。

あわせて、適切な処遇改善を行うことにより、教員のモチベーションや定着率の向上を図り、働きやすさと働きがいを高めていくことが重要だと考えている。

Q 学校で配布されている1人1台端末を活用して、児童生徒が発するSOSの早期発見・早期支援につなげる「心の健康観察」の取組状況と、今後の展開をどう考えるか。

A 令和4年度に、ICTを活用した相談フォームを作成し、すべての県立高校に配布した。現在、県立高校の23校が「心の健康観察」を行っている。

さらに、ICTを活用した相談窓口として、平成29年度より、中高生を対象としたLINE相談を全国に先駆けて実施し、利用者は年々増加している。

SNSであれば自分の気持ちを表現できる子どもも多いため、今後も、SNS等を活用し、子どもたちの健やかな心とからだの成長を支える取組を進めていく。

4 農業政策

Q 食料・農業・農村基本法の改正で、「食料安全保障の確保」が規定されたが、それによる県農業への影響と今後の取組はどのようにしているのか。

A 「食料安全保障の確保」は、一義的には国において仕組みを構築すべきと考えるが、県では本県における農業の持続性を高め、安定した生産により国内の食料供給を支えることが、それに貢献するものと考えている。

今後、全国的に評価の高い米については、高品質で安定的な生産を進めるとともに、多くを輸入に依存している小麦や大豆も、生産性や品質の向上を図り、県内産へ置き換えを進めていく。

Q 中山間地の農地を守るため、どのように農業振興に取り組むのか。

A まずは、市町村において、将来のありたい姿を明確にし、取組を進めていく必要がある。その上で、農地と人々の暮らしを維持していくため、小規模農家等が耕作を続けられる環境を整備するとともに、地域内外の多様な人材を呼び込み、協働していくことが重要である。

このため、県では、小規模農家等に対して、共同利用する機械等の整備や狭い農地でも活用できるスマート農業技術等の導入支援を行うとともに、移住者が農業を行いつつ農閑期には他の仕事に従事するなど、年間を通じて地域の一員として活躍できる環境の整備も重要であることから、引き続き、「農ある暮らし」の推進と合わせた移住などの取組を進めていく。

常任委員会の活動

各委員会では、6月定例会において、付託議案、所管事項に関する質疑等及び請願・陳情の審査を行いました。
各委員会の委員長報告全文は、県議会ホームページでご覧いただけます。
また、議会の閉会中には、県の現地機関の調査、企業や団体等の視察、関係者との意見交換などを行っています。



総務企画警察委員会



【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算
- ・県税条例の一部改正

【主な質疑事項等】

- ・警察本部庁舎建設候補地を含む県庁周辺の整備について
- ・空き家の流通促進について
- ・電動キックボード等新たなモビリティへの対応について

現地調査(7月10日～11日 北信・東信)

長野地域振興局や飯山警察署など現地機関の調査や、鉄道駅舎に併設された郵便局などの視察を行いました。



飯山警察署の調査

県民文化健康福祉委員会



【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算
- ・幼保連携型認定こども園の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正

【主な質疑事項等】

- ・里親委託の推進について
- ・長野県立美術館について
- ・県内の病院の経営状況について

現地調査(6月10日～11日 北信・東信)

長野保健福祉事務所など現地機関の調査や、特色ある私立小学校などの視察を行いました。



さかへ星小学校の視察

産業観光企業委員会



【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算

【主な質疑事項等】

- ・女性・若者が働きやすい職場環境の整備について
- ・大阪・関西万博への催事出展計画について
- ・新規電源開発の取組について

現地調査(5月30日～31日 中信・南信)

工業技術総合センター環境・情報技術部門など現地機関の調査や、諏訪湖サイクリングロードなどの視察を行いました。



工業技術総合センター環境・情報技術部門の調査

農政林務委員会



【主な付託議案】

- ・菅平小水力発電施設建設工事変更委託契約の締結

【主な質疑事項等】

- ・「食料・農業・農村基本法」改正に係る県の対応について
- ・農業人材の確保・育成について
- ・主伐・再造林の推進について

現地調査(7月22日～23日 中信・南信)

南信州地域振興局など現地機関の調査や、情報処理システムを活用し省力化や効率化を図る共選所などの視察を行いました。



JA松本ハイランド すいか共選所の視察

危機管理建設委員会



【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算

【主な質疑事項等】

- ・道路舗装の補修について
- ・建設業の担い手確保の取組について
- ・地震保険について

現地調査(7月16日～18日 中信・南信)

木曾建設事務所など現地機関や、県道園原インター線で発生した道路法面崩落の対策箇所などの調査を行いました。



県道園原インター線の調査

環境文教委員会



【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算

【主な質疑事項等】

- ・不登校児童生徒への支援について
- ・LINE相談窓口について
- ・長野県ゼロカーボン戦略の推進について

現地調査(6月3日～4日 中信・東信・北信)

稲荷山養護学校など現地機関の調査や、かんがい用水路を利用した小水力発電所などの視察を行いました。



小水力発電所の視察

最近の議会の取組

オンライン化に取り組んでいます

書面を前提とする法令に基づく手続について、多様な住民が議会に開く機会をを広げ、また、議会運営の合理化を図る観点から、地方自治法等が改正され、今年度から県議会に対する県民等からの請願(陳情)書の提出がオンラインにより行えるようになりました。
県議会には、「ながの電子申請サービス」により提出することができます。
詳細は県議会ホームページをご覧ください。



県民の皆さんと意見交換を実施します

身近で開かれた県議会を目指して、議長、副議長、広報担当の議員等が地域の方々と意見交換を行う「こんにちは県議会です」を実施します。

開催日: 令和6年9月9日(月) 開催場所: 長野県松本合同庁舎
テーマ: 「選ばれる長野県」を実現するために～安心して暮らせる魅力ある地域づくりについて～
参加団体: 自治会活動やまちづくり、移住促進、子育て支援、子どもの体験活動、地域の居場所づくり、見守り活動などに取り組む12団体(予定)
塩尻市北熊井区、一般社団法人松本青年会議所、公益社団法人塩尻青年会議所、安曇野市商工会青年部、のりくら高原ミラリス構想協議会(松本市)、ピアリイ(塩尻市)、ピアサポートShuShu(安曇野市)、まめまめの会(松本市、塩尻市)、特定非営利活動法人わおん(塩尻市)、わくわくの村(麻績村)、安曇野市役所・地域見守り活動参加団体(安曇野市)、山形村役場・地域おこし協力隊等(山形村)
※詳細については、後日県議会ホームページで公表します。

決算特別委員会を設置しました

調査事項 一般会計、特別会計及び企業特別会計の決算の認定に関する事項等
委員長 清水 正康(新) 副委員長 山田 英喜(自)
委員 丸山 栄一(自) 堀内 孝人(自) 大畑 俊隆(自) 向山 賢悟(自)
青木 崇(自) 埋橋 茂人(改) 望月 義寿(改) 小林 陽子(改)
勝山 秀夫(公) 和田 明子(共)
※(自)自由民主党県議団、(改)改革信州、(新)新政義議員団、(公)公明党長野県議団、(共)日本共産党県議団

9月定例会日程(予定) [会期16日間]

- ▽9月26日(木) 開会
- ▽10月1日(火)～4日(金) 一般質問及び質疑
- ▽10月7日(月)～9日(水) 各委員会
- ▽10月10日(木) 総務企画警察委員会
- ▽10月11日(金) 閉会

県議会ホームページをご覧ください
※本会議のインターネット中継(生中継及び録画)については、スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。



県議会Xをご覧ください
議会活動の情報を発信しています。
皆様のフォローをお待ちしています!!



「こんにちは県議会です」は、県議会定例会後に発行しています。
議会広報に関するお問い合わせは長野県議会事務局調査課まで
〒380-8570 長野市大字南長野字榎下692-2
☎026-235-7414(直通) FAX 026-235-7363
Eメール chosa@pref.nagano.lg.jp
長野県議会ホームページ https://www.pref.nagano.lg.jp/gikai/chosa/index.html

